



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1607号

会 長	石川健次	会長エレクト	横澤 創	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	古都 清	幹 事	橋本日吉		大和中央ビル301
会報委員会	松崎正実	中島康次郎	阿萬正巳		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
例 会 場	八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)				E-mail: naka-rc@jcom.home.ne.jp
					URL: http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」
RI 会長 カルヤン・パネルジー

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

ロータリーをもっと楽しむために、
ロータリーをもう一度見直そう！

【本日のプログラム】1月26日 夜間例会「慶寿の会」親睦活動委員会

【次回予告】 2月2日 クラブフォーラム「世界理解月間にあたり」国際奉仕委員会

【第1603例会】1月19日(木) 【司会SAA】伊藤 英夫 君 【斉唱】「奉仕の理想」

【ソングリーダー】辻 彰彦 君 【ビジター】竹田 栄 様(大和RC)、河西 正彦 様(大和田園RC)

会長の時間 石川 健次 会長

後藤ガバナー年度の地区大会にも出席された、田中作次RI会長エレクトから2012-2013年度のRIテーマは「Peace Through Service 奉仕を通じて平和を」との発表がありました。半期が終わったばかりですが、もう次年度の動きが着々と準備されているようです。



さて、1月は「ロータリー理解推進月間」と定められています。この月間では、①会員の皆さま一人ひとりにロータリーについての知識と理解を一層深めてもらうこと ②ロータリアンでない人たちにもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間とされています。

今年度、私は「ロータリーをもっと楽しむために、ロータリーをもう一度見直そう!」という会長ターゲットを掲げさせて頂きました。その理由として、ロータリーが抱える様々な課題、会員数の減少やそれに伴う活力の低下などを解消するためには、ロータリーへ興味を持って、ロータリーへの理解を推進す

ることが一定の効果を上げると考えました。

会員の皆さまお一人おひとりが、ロータリーにもう一度関心をもって理解を深め、ロータリーの良さを再度認識して頂くことができれば、きっと退会防止にも役立つはずだと思います。残念ながら退会される方の多くは、ロータリーの本当の良さを理解するに至らずに去っていかれるのではないのでしょうか。

本日の卓話の時間は、R情報とクラブ研修委員会の担当ということで、事前に告知されているような内容で会員に向けてのフォーラムが準備されていると思います。ここでは、ロータリアン以外の「外部の方のロータリーへのイメージ」のお話をさせて頂きます。

RIで実施した公共イメージ調査の結果についての報告によると、この調査では、ロータリアンではない人のうち、平均62%の人がロータリーの名前を知っているが、ロータリーがどのような活動をしているのかをある程度知っているのは、そのうちのわずか37%にすぎないという結果が出ているそうです。これを100人で割り当てるとロータリーについて少しでも知っている人は、わずか23人ということになります。

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 8名(敬称略)
37名	27名	77.14%	94.29%	6名	青柳、原嶋、岩松、神作、北島、中西、梅野、横澤

私たちが考えている以上に外部の方にはロータリーは知られておらず、場合によっては間違ったアナウンスがされているかも知れません。仮に今、目の前に大和RCにお誘いしたい入会候補者がおられるとして、入会のメリットやロータリーの魅力について、十分に説得力のあるお話をして頂くことは可能でしょうか。会員自身が普段からロータリーの理解を推進していれば、会員増強にも大きな成果をもたらすかもしれません。

ロータリーに関する知識だけではなく、ロータリーの理解をもう一步深めてみようという姿勢を意識すれば、ロータリーライフがもっと楽しく見えてくると考えます。

新しい仲間を迎え、皆様のクラブライフをよりいっそう楽しくする意味からも「ロータリーをもっと楽しむために、ロータリーをもう一度見直そう!」と申し上げたいと思います。

幹事報告 橋本 日吉 幹事

- ①本日 18時半より、第6G会長・幹事会を北京飯店にて大和中のホストで開催いたします。
- ②来週の例会は、夜間移動例会となります。18時半より北京飯店にて「慶寿の会」となります。
- ③ロータリー米山記念奨学会よりハイライト米山が届いております。
- ④IMの参加出欠表を回覧しますので、エントリー宜しくお願いします。
- ⑤3/11大和RC創立50周年記念式典の参加者を募っております。目標は20名ですので、ご協力をお願いします。

委員会報告

お祝いの方々

親睦活動委員会 岸 幸博 委員長

会員誕生日	梅田 秀雄 君	1月19日
	長野 俊八 君	1月21日
	北島 照介 君	1月21日
	上田 利久 君	1月23日
	富澤 克司 君	1月28日
配偶者誕生日	上田 郁代 夫人	1月23日
	伊藤 克枝 夫人	1月23日
	橋本 誠子 夫人	1月24日

	松崎 祐子 夫人	1月29日
結婚記念日	藤田 重成 君	1月21日
	古木 勝治 君	1月26日
創業記念日	高橋 政勝 君	2月 1日

クラブフォーラム

「ロータリー理解推進月間にあたり」

R情報・クラブ研修委員会

後藤 定毅 クラブ研修リーダー

今日は「ロータリー情報・クラブ研修委員会」による、ロータリー理解推進月間の「クラブ・フォーラム」です。館盛委員長が仕事のため欠席ですので、今年度クラブ研修リーダーを務めています私が、「ロータリー理解推進について」を簡単に説明させて頂き、のちほど時間の許す限り皆さんから多くの意見を伺って、楽しく為になるフォーラムに出来ればと思いますので、ご協力をお願いいたします。

まず基調スピーチの前に、「クラブ研修リーダー」はRIがCLPの推奨によってクラブに設置を要請されたもので、従来のロータリー情報委員長と同じ責務をもっているということ、そして新会員もおられますので、「クラブ・フォーラム」という説明をさせて頂きます。クラブ・フォーラム(クラブ討論会)は、プログラムやクラブ活動などロータリー全般について会員への情報伝達と、よりよい奉仕活動をするために会員同士のざっくばらんな意見交換を目的とするクラブ全員による公式会合です。本来は「クラブ協議会」と同様に例会とは別で開催されて、十分な時間を充てて全員が参加するのが原則であります。

今日会長が「会長の時間」でも言われましたが、この1月は、まず会員がロータリーの理解をして、みんなでロータリーを推進しよう、という「ロータリー理解推進月間」です。まさにこの推奨月間に当たり、今年度の会長ターゲットである「ロータリーをもっと楽しむために、ロータリーをもう一度見直そう!」、そしてRIテーマである「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」の言葉の意味を、みんなで考



えてみようということでプログラムで予定されたのだと思います。ご案内のようについ少し前、私たちは新しい年を迎えたばかりです。この新しい年のスタートに、「ロータリーとは何か?」「ロータリーは何をするべきか?」ということを考えてらどうかと、RIはロータリークラブに、あるいはロータリアンに投げかけているのではないかと、思うのであります。

前年度ガバナーを務めさせていただき、私自身貴重で得難いいろいろな経験をさせて戴くことになりました。そんな経験から最近になってつくづく感じていますことは、ロータリーというところは、つまるところ「自分づくり、人間づくり」であるという印象です。この組織は、世の中のどんな組織とも違って、決して強制される組織ではないということです。一定の歯止めがあることはありますが、自らが積極的にかかわらなければ何も得られないものであるということ、事前に予告したのにもかかわらず今日のフォーラムにも多くの人々が帰られることになりましたが、このように参加したくなくれば参加をしなくて良いわけです。全てが「自由」を基本として、個人の意思と善意をよりどころとして成り立っている大変高邁な理想を持った素晴らしい組織団体だということです。

私は30年間ロータリーに入らせて戴いていますが、極端に言えば、会費を払って一定の出席さえしていれば30年間何もしなくとも会員でいることは、いられるわけでありませう。しかし面白いもので、ロータリーは基本的に一業種一人の違った人間同士の集まりですから、異質性、多様性といういろいろな人との出会いの中で、いつしか知らない間に刺激を受け、「朱に交われれば赤くなる」の言葉のように自分が磨かれ成長して行くことになるわけでありまして、その良い出会いが多ければ多いほど、また親睦の深さが深ければ深いほど、あるいはロータリーの言え、*「He profit most who serves best (最も奉仕するもの 最も多く報いられる)」*ということになり、ロータリークラブというところで人間は偶然の出会いにより心から親しくなったり、仲良くなること出来さえすれば、「Service above self (超我の奉仕)」という人間の持つ自分のためという利己的な考えと、また反対に人のためという利他的な考えの矛盾を超えた考え方を体得するようになり、必然的に世のため人のため

に尽くすという思いやりや助け合いの心を持った奉仕の世界に自分をおくことが出来るようになるのではないかと、言うわけでありませう。ロータリーで行われている仕組みの多くは、たとえば今日のようなクラブ・フォーラムでいろんな人の意見を聞くことが推奨されているということは、お互いがいろんな異見を言い、そして聞くことによってロータリーの理想を学んでいくという、有名な決議23-34でも言われているような、まさにここにロータリーが人生の道場と言われる「人間づくり」の源を発しているのだらうと思います。

今月号のガバナー月信で森ガバナーは、こんなことを言っています。「ロータリーは知れば知るほど、理解すれば理解するほど、ロータリーの活動そのものが楽しくなる」、また「ロータリーについて多くのロータリアンの業績を知り、ロータリーへの理解を深めて地域のために世界のために活動してほしい」とも言っています。

今日は、事前にお願ひいたしました、みなさんに「ロータリーに入会してから感じたこと」、そして「これからクラブとして、自分自身としてどうしたら良いかと思う方向」をご披露いただき、それぞれに「ロータリーの理解推進について」を感じとって戴き、明日の私たちの奉仕活動に繋ぐことが出来ればと思います。それではこれから活発なご意見を願ひいたします。

藤田 重成 会員

33年間続けてこられたことを一言で言うなら、クラブに魅力があったからだと思います。今日までこれたと言う事は、立派な方々の温かな友情があったからこそだと思います。

非常に幸せだったと思っております。

伊藤 英夫 会員

個人では出来ない奉仕活動をクラブの皆様と協力して頂き出来た事を喜んでおります。

上田 利久 会員

33年前、多くの職業人の集いの中で、そと我が身をロータリーの鏡に写し「及ばざるが我が身を正す…」

只今、後藤PGからお話を頂きましたが、自分

を作り、人を作る、これがロータリーの思いであると信じています。

これからも仲良しクラブの仲間として宜しくお願いします。

鈴木 洋子 会員

- ①会場が途中で移転した事で雰囲気が大分変わった。
- ②親睦を主体としていくとお互いに寛容になっていく様な気がして締まりの無いクラブになって行きそうです。規律を守ろうとすると堅苦しいクラブになり、出席率等の問題で退会する人も出てくるのでは…。

中島 康次郎 会員

①ロータリーに入会してから感じた事

やはりバッチの重さです。諸先輩の方々の一言一言を大切に聞いて、自分に課せられた責任を周りの方々に理解して頂くよう努めたいと思います。

②これからのクラブとして進むべき方向

現在大事な広報を担当させて頂いております。とくに如何にしたら地域の方に正しく理解して頂

けるように何が出来るか常にアンテナを張って微力ですが、ロータリーの友にありましたが地域社会をも巻き込む大きな流れを作れるよう頑張ります。

辻 彰彦 会員

父はかつて大和中のロータリアンで、RCの事は耳にしており、若い頃は直接的な奉仕が大切だと思い、また活動しておりましたので、反発心を持っておりました。

しかし、現在は大きな組織でないと出来ない事を体験し、間接的奉仕と直接的奉仕のバランスが大切であると思い、ロータリーの素晴らしさを感じております。

引田 俊一 会員

①大和中RCに入会できて光栄であります。

②しかしながら、現在のところ奉仕の実感があまり感じられず、大和中RCの目指しているところが分かりません。

③委員会活動に積極的に参加して、社会奉仕、国際奉仕に取り組んで行きたいです。

スマイルボックス 上田 利久 副委員長

本日¥14,000 累計¥647,500

竹田 栄 様 (大和RC)

新年そうそうお世話になります。本年も宜しくお願いします。

河西 正彦 様 (大和田園RC)

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

石川 健次 会長・橋本 日吉 幹事

今日は、ロータリー理解推進月間にあたりクラブフォーラムとなります。ロータリーに入会してから感じた事、これからクラブとして進むべき方向について、大いに語りましょう。研修リーダー後藤PG、宜しくお願いします。

後藤 定毅 君

田園の河西さんようこそ我がクラブへお出で下さいました。前年度クラブ幹事としてご支援戴きましたこと、ありがたく思っております。これからも共にロータリーを楽しみましょう!

高橋 政勝 君

毎日寒い日が続いています。今日は急用のため早く帰りますので宜しくお願いします。

藤田 重成 君

結婚記念日を祝って頂きありがとうございます。息子も60才になります。早いものですね。

伊藤 英夫 君

家内の誕生日お祝いありがとうございます。日頃健康に気を付けて楽しく過ごしております。

長野 俊八 君

誕生日記念のお祝い有難うございます。年を重ねると共にゴルフの数字も増えてきてます。

松崎 正実 君

女房の誕生日を祝って頂きありがとうございます。

梅田 秀雄 君

誕生日を祝って頂きありがとうございます。本日68才になりました。後期高齢が迫っています。

富澤 克司 君

入会早々の誕生日となりました。2回目の例会出席です。宜しくお願いします。

橋本 日吉 君

妻の誕生日を祝って頂きありがとうございます。もう何歳かは覚えていません…ありがとうございました。

上田 利久 君

お誕生日のお祝いを、それぞれにありがとうございました。病と仲良く、二人いたわりながら…若いパワーを背中に受けながら83才になりました。感謝。